

水稻の6月下旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 6月19、20、21、25日

- (1) 葉いもち
 - ・巡回ほ場では、発病を確認できなかった。
- (2) イネドロオイムシ
 - ・北信地域の2巡回ほ場でわずかに食害（被害）を確認したが、他の巡回ほ場では確認されなかった。
- (3) イネミズゾウムシ
 - ・一部の巡回ほ場において、成虫の寄生と被害の増加が認められた。
- (4) 斑点米カメムシ類（畦畔雑草）
 - ・アカヒゲホソミドリカスミカメは、北信地域の12ほ場、東信地域の4ほ場で捕獲された。また、発生の拡大が心配されるアカスジカスミカメは北信地域の3ほ場で確認された。
- (5) その他（畦畔雑草） ※東北信地域の調査ほ場：33地点
 - ・イナゴの幼虫は、東北信地域の巡回ほ場33地点中21地点で確認された、寄生数は地点によってかなりの差があった。
 - ・ササキリの幼虫も多く多くの地点で観察され、寄生数は地点によって差があった。

【中南信】 調査日6月19、20、26日

- (1) 葉いもち
 - ・巡回ほ場では、発病を確認できなかった。
- (2) イネドロオイムシ
 - ・39ほ場中、4ほ場で食害、3ほ場で幼虫、1ほ場で成虫を確認した。常発地では被害もやや多くなった。春先の低温で発生が遅れていた可能性も考えられる。
- (3) 斑点米カメムシ類（畦畔雑草）
 - ・39ほ場中27ほ場で捕獲された。主な種はホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメであった、特にアカスジカスミカメの捕獲数の多い地点があり、今後の発生動向には注意が必要と考えられる。
- (5) その他（畦畔雑草）
 - ・イナゴ、ササキリの幼虫も多く多くの地点で捕獲されたが、目立って多い地点はなかった。



写真1 イネドロオイムシ幼虫



写真2 イネドロオイムシ成虫



写真3 アカヒゲホソミドリカスミカメ